

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学会津医療センター外科学講座（呼吸器外科）では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年4月 福島県立医科大学会津医療センター外科学講座（呼吸器外科）

樋口光徳

【研究課題名】 進行非小細胞肺癌に対する化学療法後にサルベージ手術を施行した症例の臨床成績の評価

【研究期間】

2022年4月～2024年4月

【研究対象期間】

2019年1月～2022年12月までの4年間

【研究の意義・目的】

肺癌は世界的規模で増加傾向にある疾患で死亡率も高く、この疾患の制御は我が国のみならず、全世界の喫緊の課題です。近年は、従来の殺細胞性抗悪性腫瘍剤に加えて分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤が臨床応用され治療成績が向上していますが、耐性の問題などもありまだ十分満足が得られる状況ではありません。一方ではこれらの薬物治療では原発巣、転移巣のいずれも縮小や消失が見られる患者さんも存在します。このような患者さんでは長期生存を目指し、集学的治療の一環として完全切除を目指したサルベージ（救済）手術が行われることがあります。サルベージ手術とは、化学療法中に残存した腫瘍や新規に出現した腫瘍に対して根治を目指して完全に切除する手術のことで、この手術によって長期生存を目指します。しかしまだサルベージ手術の治療効果については一定の見解が得られていないのが現状です。本研究では、当院でサルベージ手術を施行した症例について後方視的に治療の現状、治療成績について評価を行います。

【研究の方法】

2019年1月から2022年12月までに当院で非小細胞肺癌に対して化学療法後にサルベージ手術を施行した症例の臨床背景因子、化学療法の経過、周術期の問題点、長期的な予後について解析し、サルベージ手術の効果を統計学的に評価します。

【研究組織】

研究責任者：（所属）会津医療センター外科学講座（職）准教授（氏名）樋口光徳

研究分担者：（所属）会津医療センター外科学講座（職）助手（氏名）山口光

研究分担者：（所属）福島県立医科大学医学部呼吸器外科学講座（職）主任教授

（氏名）鈴木弘行

研究分担者：（所属）会津医療センター外科学講座（職）助手（氏名）鈴志野聖子

研究分担者：（所属）会津医療センター外科学講座（職）講師（氏名）添田暢俊

研究分担者：（所属）会津医療センター外科学講座（職）教授（氏名）齋藤拓朗